# PowerPoint 操作マニュアル

音声（ナレーション）入り動画データの作成方法

---

## 1. このマニュアルについて

PowerPoint（Microsoft PowerPoint）のスライドに音声ナレーションを吹き込み、MP4 形式の動画ファイルとして書き出す手順を説明します。プレゼンテーション動画、研修用教材、オンデマンド配信用コンテンツなどの作成に利用できます。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 対象ソフト | Microsoft PowerPoint（Microsoft 365 / 2019 以降 推奨） |
| 対象 OS | Windows / Mac（一部機能は環境により異なります） |
| 完成ファイル形式 | MP4 |
| 所要時間の目安 | スライド作成時間を除き、録音・書き出しで 30 分〜1 時間程度<br>※スライドの枚数により異なります |

## 2. 事前準備

1. スライド資料を完成させる：

   文字や図表の内容は録音前に確定させておきます（録音後に大きく編集すると音声とのズレが生じます）

2. 読み上げ原稿を用意する：

   スライドごとに話す内容を台本にしておくと、録り直しが減ります。

3. マイクを準備する：

   PC 内蔵マイクでも録音可能ですが、雑音が入りやすいため、USB マイクやヘッドセットマイクの使用を推奨。

4. 静かな環境を確保する：

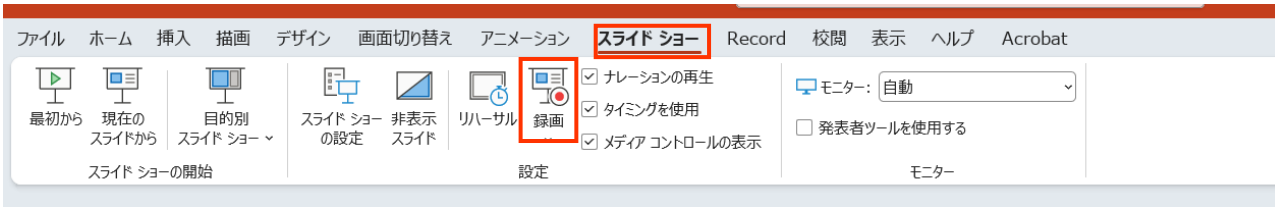
   エアコンの音や外部の雑音が入らない部屋で録音します。

## 3. 手順 1：スライドショーの録画（ナレーションの録音）

PowerPoint の「記録」機能を使い、スライドの切り替えタイミングとナレーション音声、必要であればカメラ映像・画面上のペン注釈を同時に記録します。

### 3-1. 記録画面を開く

1. PowerPoint でファイルを開きます。
2. リボンの「記録」タブ（環境によっては「スライドショー」タブ、「Record」タブ）をクリックします。
3. 「録画」（または「現在のスライドから記録」）をクリックします。




### 3-2. 録音前の設定確認

- 画面右上または左上のマイクアイコンで、使用するマイクが正しく選択されているか確認します。
- カメラを使わない場合は、カメラアイコンをオフにしておきます。



### 3-3. 録音の実行

4. 画面上部の「記録」（丸い赤ボタン）をクリックすると、3 秒程度のカウントダウン後に録音が始まります。
5. 台本を見ながら話し、スライドを送るタイミングで画面下部の「進む」矢印、またはキーボードの矢印キーでスライドを切り替えます。
6. スライドの切り替えタイミングと音声は自動的に紐づけて記録されます。
7. 最後のスライドまで話し終えたら、「停止」ボタンをクリックして記録を終了します。
8. 左上の「×」または「閉じる」で記録モードを終了し、通常の編集画面に戻ります。

> **確認方法：**
> 記録が完了すると、各スライドの右下（またはサムネイル上）に小さなスピーカーアイコンが表示されます。これが音声が保存された印です。

## 4. 手順 2：録音内容の確認と調整

1. 「スライドショー」タブから「最初から」を実行し、通しで再生して音声とスライドのタイミングを確認します。
2. スライド上のスピーカーアイコンをクリックすると再生・削除ができます。不要な場合はアイコンを選択して Delete キーで音声を削除できます。
3. 画面切り替えのタイミングを手動で微調整したい場合は、「画面切り替え」タブの「タイミング」設定、または「記録」タブ内の「ナレーション再生」オプションで調整します。

## 5. 手順 3：動画（MP4）として書き出す

1. 「ファイル」タブをクリックし、「エクスポート」を選択します。
2. 「ビデオの作成」（Create a Video）をクリックします。
3. 画質を選択します（用途に応じて「フル HD (1080p)」または「HD (720p)」を推奨）。
4. 「記録されたタイミングとナレーションを使用する」が選択されていることを確認します（これが音声を含める設定です）。
5. 各スライドの表示秒数（ナレーションがないスライドがある場合の既定秒数）を必要に応じて設定します。
6. 「ビデオの作成」ボタンをクリックし、保存先フォルダとファイル名を指定して保存します。
7. 画面下部の進捗バーで書き出し状況を確認します。スライド枚数や動画の長さにより数分～数十分かかります。

> **ポイント：**
> 書き出し中は PowerPoint を閉じたり、スリープ状態にしたりしないでください。処理が中断されることがあります。




## 6. 完成データの確認

- 書き出した MP4 ファイルをメディアプレーヤー（Windows Media Player、QuickTime 等）で再生し、音声とスライドのズレがないか確認します。
- 音量が小さい・音が割れている場合は、手順 3 に戻りマイクの入力レベルを調整して録り直します。
- ファイルサイズが大きすぎる場合は、書き出し時の画質設定を「標準」に下げるか、動画編集ソフトで圧縮します。

## 7. よくあるトラブルと対処法

| 症状 | 主な原因と対処法 |
| --- | --- |
| 音声が録音されていない | マイクの選択ミス、または OS 側でのマイクのアクセス許可がオフになっている可能性があります。設定を確認してください。 |
| 書き出した動画に音が入っていない | 「記録されたタイミングとナレーションを使用する」が選択されていない可能性があります。手順 5-4 を再確認してください。 |
| 音声とスライドがずれる | 録音後にスライドの枚数や順序を変更した可能性があります。順序変更後は該当スライドを録り直してください。 |
| 書き出しに非常に時間がかかる | スライド枚数、動画の長さ、PC の性能によります。画質を下げる、他のアプリを閉じるなどで改善する場合があります。 |

## 8. 参考：推奨設定まとめ

| 設定項目 | 推奨値 |
| --- | --- |
| 画質 | フル HD (1080p)（配布・再生環境が限定的な場合は HD 720p） |
| ファイル形式 | MP4 |
| マイク | USB 接続または有線ヘッドセットマイク |
| 録音環境 | 静かな室内、エアコン等の稼働音に注意 |